

## “爱”と“喜欢”

沖森紅美

要旨 日本人学習者がよく間違える“爱”と“喜欢”を取り上げ、それぞれの意味と用法、コロケーション、そして、互いにどのような要素が影響し合い、また、どのような部分が無関係なのかを考察する。その際、それぞれの言語に翻訳する場合の注意点にも触れる。結論としては、“喜欢”の意味・用法は比較的単純で、趣味や好みについて用い、「嬉しい、愉快だ」という気持ちを表す。これに対して、“爱”は意味も用法も多種多様で、基本義の「愛している」から「大事にし、重んじる」という意味を派生させた。そのため、「好きだ」から「好んでよくする」、さらには、「好んでよくする」から「しょっちゅう」「つい」「～しやすい」「～になりやすい」という意まで多義化していったと見られる。

キーワード “爱” “喜欢” 意味 用法 コロケーション 訳

### “爱”与“喜欢”

提要 以日本学生常出现误用的同义词“爱”与“喜欢”为对象，通过语料库的大量例句，着重分析“爱”与“喜欢”在语义和用法上的异同，以及两者在“日⇔汉”互译上需要留意的地方。指出：“喜欢”的语义和用法比较简单，而“爱”的语义和用法则较为复杂，有较多的派生义。“喜欢”表示的行为都是人为可控的，而“爱”则可控、不可控的行为及自然现象等均可表示。

关键词 “爱” “喜欢” 语义 用法 搭配 翻译

日本人学生の中国語作文には、時々次のような文が見られる。

妈妈喜欢自己的孩子。

她特别喜欢干净、喜欢漂亮。

このような言い方をそのまま用いる人もいるかもしれないが、よく考えてみると“喜欢”ではなく“愛”を使うのが適切だと見られる。実は“喜欢”と“愛”は語義区分において重なる部分はないのではないが、わずかである。それゆえ、中国で出版された類義語の参考書には、この二つの言葉は同義語と見なされていない。例えば、『現代漢語同義語詞典』（劉叔新編、天津人民出版社、1987.10）、『同義語詞典』（張清源編、四川人民出版社、1994.12）、『漢語同義語詞典』（佟慧君・梅立崇編、商務印書館国際有限公司、2002.1）、『新華同義詞詞典』（商務印書館辞書研究中心編、商務印書館、2003.1）、『新華同義詞詞典（中型版）』（張志毅・張慶雲編著、商務印書館、2005.12）等の同義語辞書には、この組の類義語は示されていない。

一方、日本人学習者はこの二つの語をよく間違えるためか、日本で出版された中国語の類義語辞典や参考書には、常に“愛”と“喜欢”がペアとして取り上げられている。例えば、『違いが分かる中国語の類語表現』（小川泰生ほか著、白帝社、2003.7、p.195）、『中国語類義語辞典』（相原茂主編、朝日出版社、2015.5、p.615）、『中国語似ている単語使い分けブック』（蘇紅・顧明耀著、ベレ出版、2019.3、p.12）などには、これが記載されている。

“喜欢”と“愛”を間違えないようにするためには、“愛”と“喜欢”のそれぞれの意味と用法、そして、互いにどの部分が影響し合い、どの部分が無関係なのか、この問題点について考えてみたいと思う。

## 1. “愛”の意味と用法

### 1.1 人や物事に深い愛情を抱く意を表す

まず、“愛”は人や物事に深い愛情や男女の愛情をもつ意を表し、「愛する」に相当する。目的語には名詞を取り、家族、彼氏・彼女のほか、「祖国・人民・平和・美しいこと」など抽象的な名詞がくる。具体的には下記の4つ

“愛”と“喜欢”

に分けることができる。

- (a) 血のつながりに基づく真情、いわば親族関係、血族関係による「愛」。  
例えば、“愛爸爸、愛妈妈、愛亲生女儿、愛家人”など。
- (b) 恋愛中の異性に対する「愛」。例えば、“我爱她、她爱我、俩人爱得不得了”など。
- (c) 生まれた故郷や、育った環境など自分に深く関わる物事への「愛」。  
例えば、“愛祖国、愛家乡、愛母校”など。
- (d) 倫理、道徳、愛すべきだと教育された物事への「愛」。例えば、“愛真理、愛正义、愛和平、愛生命、愛大自然”など。中には、当代中国でかなり独特な表現も見られる。例えば、“愛党、愛人民、愛英雄、愛集体、愛革命同志、愛社会主义事业”など。

次に具体的な用例を挙げることにする。

- (1) 他最爱他的外婆。／彼はおばあちゃんが一番好きだ。
- (2) 妈妈最爱小女儿。／母は末娘一番好きだ。
- (3) 他爱上了那个姑娘。／彼はあの娘を好きになった。
- (4) 我爱家乡美丽的山河。／故郷の美しい山や川を愛している。
- (5) 这次大赛以“爱和平、爱祖国、爱人民、爱大自然、爱生命”为主题。  
／今回のコンテストの主題は、「和平、祖国、人民、大自然、生命を愛する」ことである。
- (6) 世上的人都爱和平。／世の中の人間はみんな平和を愛する。
- (7) 爱美之心人皆有之。／美しいものを愛する心は誰でも持っている。  
コロケーションでは、前に程度副詞を加えることができ、後ろに“着”  
“了”“过”、補語“上”“起来”“下去”“在”“到”“得”などを付けることができる。
- (8) 姑娘早就默默地爱着她的班长。／女の子はずっと前からひそかに班長を愛している。
- (9) 老李爱了一辈子孩子，自己却没有生过一个。／李さんは、生涯子供を愛していたが産んだことがない。

- (10) 她以前爱过一个法国留学生。／彼女は以前フランス人留学生を愛したことがある。
- (11) 对他我就是爱不起来。／彼のこと、私はどうしても愛せない。
- (12) 嘴上不说，爱在心里。／口では言わないが、心の中で愛している。
- (13) 没想到爱他爱到这种程度。／彼をこんなにも愛してしまうとは思ってしなかった。
- (14) 已经爱了，就要一直爱下去。／もう愛してしまったので、愛し続けたい。
- また、“愛”は名詞として主語や目的語に使われる。
- (15) 她的爱给了我力量。／彼女の愛が私に力を与えてくれた。
- (16) 妈妈给了我很多爱。／母はたくさんの愛をくれた。
- (17) 爱是什么？／愛とは何ですか。
- (18) 爱是崇高和美好的。／愛は崇高で美しいものだ。

## 1.2 大事にする、重んじる意を表す

単独で述語になることはできず、後にくる目的語や補語とともに述語になる。特に、抽象的な名詞をとり、例えば“愛名誉、愛面子、愛虚荣、愛財”などとなる。前には、程度副詞を、後ろには“了”“过”、そして“上”“起来”などの補語が付けられる。

- (19) 你是一个男人，而且是一个爱名誉的男人。／君は男だ、しかも名誉を重んじる男だ。
- (20) 他特别爱面子。／彼は、特に体面にこだわる。
- (21) 她怎么也爱上虚荣了。／なぜ彼女まで見栄を張るようになってしまった。
- (22) 那个人爱起财来，命都不要了。／あの人は金のこととなったら、命さえ惜しまない。

## 1.3 気に入って心が引かれるという感情を表す

目的語は主に名詞（句）。例えば“愛花、愛猫、愛诗歌、愛古书、愛红色”

など。

コロケーションでは、前に“很”“最”“特别”など程度副詞や“就”を付けることができる。後ろには“了”“过”、程度補語や方向補語の“上”“起来”を付けることはできる。

- (23) 我爱北京秋天的红叶。／北京の秋の紅葉が好きだ。
- (24) 她爱猫像爱自己的孩子一样。／彼女は猫を、まるで自分の子供のよ  
うに愛している。
- (25) 他爱学生，胜过爱自己的孩子。／彼は学生を自分の子供よりも愛し  
ている。
- (26) 作为一个演员，我爱生活，我爱家庭，我爱观众，我爱事业。／一人  
の俳優として、私は生活を愛し、家族を愛し、観客を愛し、仕事を愛  
している。
- (27) 他也爱起古董来了。／彼も骨董品が好きになった。
- (28) 我之所以爱上书法，是因为能增进身心健康。／書道が好きになった  
理由は、それが心身の健康を促すから。
- (29) 她是从电脑游戏开始爱上电脑的。／彼女はPCゲームによってパソ  
コンが好きになった。

#### 1.4 好きで、好んで（よく）することを表す

目的語は動詞（句）となり、好んでよくする意を表す。例えば、“爱唱歌、爱跳舞、爱学习、爱劳动、爱看书、爱说爱笑、爱蹦爱跳、爱玩儿游戏”など。コロケーションでは、前に“很”“最”“特别”など程度副詞や“就”を付けることができる。後ろには“过”、方向補語の“上”“起来”を付けることはできる。

- (30) 我爸爸最爱吃饺子。／私の父は水餃子が一番好きだ。
- (31) 四川人爱吃辣的。／四川省の人は辛いものが好きだ。
- (32) 上高中那会儿，我就爱游泳。／高校のころ、水泳が好きだった。
- (33) 我们都爱唱卡拉OK。／私たちみな、カラオケが好きだ。
- (34) 你爱弹钢琴还是爱拉小提琴？／ピアノを弾くのが好きですか、それ

ともバイオリンが好きですか。

(35) 他从小就爱冒险。／彼は小さい頃から冒険が好きだ。

(36) 我也爱过下象棋。／将棋も好きになったことがある。

(37) 无数的经验表明，只要青少年接近名著，就会爱上读书，就会形成良好的读书习惯。／青少年は名著にさえ触れれば、読書が好きになれ、よい読書の習慣が育てられることが、数多くの経験によって明らかにされた。

### 1.5 好き嫌いにかかわらず、「しょっちゅう」または「つい」行ってしま う行動を表す

目的語は主に動詞（句）や形容詞。「～しやすい」「～しがちだ」「ともすれば」のように行うことに用いられる。2種類に分けることができる。

#### 1.5.1 性格や感情的にそうなりやすく、コントロールしにくい習慣や行 為・行動を表す

ただし、多く、好ましくないことや、その習慣や行動の結果、好ましくない事態になる場合に用いられる。例えば：“愛笑、愛哭、愛吹牛、爱吃醋（嫉妬する）、愛挑毛病、愛撒谎、爱生气、爱发脾气、爱发牢骚、爱抽烟、爱赌博、爱干净、爱漂亮、爱着急、爱风流、爱俏”などとなる。

(38) 她爱笑，一天到晚总是笑嘻嘻的。／彼女はよく笑う。一日中にこにこしている。

(39) 她总爱管闲事。／彼女はおせっかいを焼きたがる。

(40) 爱睡懒觉的习惯一定要改。／よく寝坊をする習慣は直すべきだ。

(41) 你小时候特别爱哭。／君、子供の頃、泣き虫だった。

(42) 我不愿去他家，他太爱干净，不能穿鞋进，也不能抽烟。／彼の家には行きたくない。彼はとてもきれい好きなので、靴のままでは家に入れないし、煙草も吸うことができないから。

(43) 女人天生爱漂亮。／女は、生まれつきおしゃれにしているのが好きだ。

## “爱”と“喜欢”

### 1.5.2 性格や感情に関係なく、生理的、あるいは物理的にそうなりやすいこと、理性でコントロールできないことを表す

ただし、好ましくないことが多い。例えば：“爱忘事儿、爱感冒、爱头晕、爱肚子疼、爱生锈、爱招蚂蚁、爱生虫子、爱发霉、爱坏、爱烂”などとなる。前には“很”“最”“总”などの程度副詞及び“就”を付けることができる。

- (44) 他从小就爱感冒。／彼は、幼い頃から風邪を引きやすい体質である。
- (45) 我睡觉爱做恶梦。／私はよく悪夢を見る。
- (46) 爸爸爱发脾气。／父は怒りっぽい。
- (47) 他很害羞，说话爱脸红。／彼は恥ずかしがり屋で、話をする顔が赤くなりがちだ。
- (48) 铁锅爱生锈。／鉄鍋はさびやすい。
- (49) 杭州的春天爱下雨。／杭州の春はよく雨が降る。
- (50) 夏天大米很爱生虫子。／夏には米に虫がやすい。

## 1.6 “爱”を用いる決まり文句

### 1.6.1 “爱～不～”

どっちを選ぶか好きにきなさいという意を表し、不満の感情を強く表出する。例えば“爱去不去、爱信不信、爱听不听”などとなる。

- (51) 电影票买好了，你爱看不看。／映画のチケットは買ってあるが、見るか見ないか好きになさい。
- (52) 车在那儿放着，爱骑不骑，随便。／自転車はあそこに置いてあるが、乗るか乗らないかお好きなように。

### 1.6.2 “爱～就～”

ほかの人の意見はどうでもいい、気にする必要がない意を表す。

- (53) 你爱给谁就给谁。／あなたがあげたい人にあげればいい。
- (54) 他爱上哪儿就上哪儿，太任性。／彼はどこでも行きたい所に行くが、わがまますぎる。

## 2. “喜欢”の意味と用法

### 2.1 人や物、ことが好きだ、好む、興味がある意を表す

“喜欢”の目的語には、名詞、代名詞、形容詞、または動詞（句）、兼語文がくる。例えば、“喜欢音乐、喜欢安静、喜欢读书、喜欢上网、喜欢她大声念日语”などとなる。“喜欢”は趣味、好みを表すことから、目的語は動詞句の場合、積極的、前向きに行うというニュアンスが強い。

コロケーションでは、前には“很”“最”“总”などの程度副詞及び“就”が付く。後ろには“着”、“了”などは付けられないが、“过”、程度補語や方向補語の“上”“起来”を付けることはできる。

- (55) 很多外国人喜欢中国画。／中国画が好きな外国人が多い。
- (56) 日本三景我还是最喜欢宫岛。／日本三景では、私はやはり宮島が一番好きだ。
- (57) 日本老师很喜欢我们。／日本人の先生は、私たちをとっても可愛がっている。
- (58) 这首歌我喜欢极了。／この歌はとても好きだ。
- (59) 有人喜欢清静，有人喜欢热闹。／静かなところが好きな人もいれば、にぎやかなところが好きな人もいる。
- (60) 我喜欢唱歌，不喜欢画画儿。／私は歌を歌うのが好きだが、絵をかくのは好きではない。
- (61) 喜欢上一个人，和放弃一个人，都是一瞬间的事吧？／誰かを好きになったり、誰かを捨てたりすることは、どちらも一瞬のことだろう。
- (62) 佑太郎越老越喜欢起年轻姑娘来。／佑太郎は歳をとればとるほど、若い娘が好きになるのだった。
- (63) 大家喜欢他工作努力。／みんな、彼が一生懸命に働くところが好きだ。

### 2.2 形容詞として、嬉しい、愉快である意を表す

前には“十分”“非常”などの程度副詞、後ろには“极了”“不得了”などを付けることはできる。重ねて用いることもできる。



## “爱”と“喜欢”

- (64) 听了这话，她心里十分喜欢。／その話を聞いて、彼女はとても嬉しく思った。
- (65) 女儿考上了名牌大学，妈妈喜欢得不得了。／娘が名門大学に受かったので、お母さんは嬉しくてたまらない。
- (66) 我要学会汉语，让爸爸妈妈喜欢喜欢。／中国語をマスターして、両親を喜ばせたい。

### 3. “爱”と“喜欢”

以上をまとめると、“喜欢”の第一語義(2.1)が“爱”と類義的であるのは“爱”の第三、第四の語義、第五の語義の1(1.3、1.4、1.5.1)である。ただし、第二語義と(1.2)、第五語義の2(1.2、1.5.2)には径庭があるものの、第一語義(1.1)では、用例(1)、(2)、(3)だけ“爱”が“喜欢”と言い換えられる。

そこで、“爱”と“喜欢”両方使えるものを示し、その意味やニュアンスなどの差異を見ていきたいと思う。まず、1.1の用例(1)、(2)、(3)については、

(1) 他最喜欢他的外婆。

(2) 妈妈最喜欢小女儿。

上の2例は“爱”の方が、心引かれるという感情の強いニュアンスを伴う。

(3) 他喜欢上了那个姑娘。

上記(3)のように言い換えると、「彼はあの娘に対して好感を持つようになった」というニュアンスであって、恋人のレベルには至っていないという段階にある。

1.2、1.5.2については、“喜欢”で言い換えることはできないが、次に1.3、1.4、1.5.1について少し考えておくことにする。

(32) 上高中那会儿，我就喜欢游泳。

目的語が動詞フレーズの場合、“喜欢”は“爱”を使うと、「好きだけではなく」、「よく～する」意味も含まれている。

(34) 你喜欢弹钢琴还是喜欢拉小提琴？

「“喜欢”+動詞フレーズ」が目的語の場合、ある事に対し、好感・興味を持ち続けていることを表すだけで、「よく～する」意味はない。

(42)' 我不愿去他家, 他太喜欢干净, 不能穿鞋进, 也不能抽烟。

(43)' 女人天生喜欢漂亮。

このような言い方をする人もいるかもしれないが、BCC 語料庫<sup>1)</sup>を調べると、「喜欢干净」は6例で、「喜欢漂亮」はわずか1例であった。(42)' “爱干净”は彼のきれいな好きは心底からなのであって、すでに癖になっているとも言える。いわゆる「潔癖症」「汚さ恐怖症」みたいなものである。(43)'の“爱漂亮”と同じく、「きれいに、おしゃれにする」のは生まれつきのような性格で、そのために癖になるほど愛する人もいえると言えよう。そして、この2例はいずれも具体的な事物について表現したのではなく、漠然とした感情である。このような、感情にまつわる思いに関しては、普通“愛”を使う。

次に、“喜欢”が“愛”に言い換えられるかどうかについて考えてみよう。

(55)は物、(56)は場所、(58)は歌を対象と挙げ、それらに対する自分の好

1) 北京語言大学が作ったBCC語料庫には、用例の数は下記のようなものである(以下の数は、いずれも「,」を入れて調査した結果である)。

“爱干净, 106/喜欢干净, 6”で、“愛”は約18倍である。他に“愛/喜欢漂亮, 19/1; 愛/喜欢整洁, 30/2; 愛/喜欢静, 25/3; 愛/喜欢清洁, 107/0; 愛/喜欢热闹, 105/61; 愛/喜欢自由, 227/8; 愛/喜欢激动, 14/0; 愛/喜欢俏, 9/0”など。

	干净,	漂亮,	整洁,	清洁,	静,	热闹,	自由,	激动,	俏,
爱	106	19	30	107	25	105	227	14	9
喜欢	6	1	2	0	3	61	8	0	0

ちなみに、北京語言大学語料庫BCCにある用例データ数を次に示す。

词例	文学(30億字)(文学作品の用例数及び割合)	报刊(20億字)(新聞の用例数及び割合)	科技(30億字)(学術書の用例数及び割合)
爱 n, /喜欢 n,	1532/918 (1.7: 1)	5339/ 782 (6.8: 1)	2790/ 637 (4.4: 1)
爱 v, /喜欢 v,	1235/630 (2.0: 1)	3311/1215 (2.7: 1)	2325/1092 (2.1: 1)
爱 a, /喜欢 a,	324/113 (2.9: 1)	590/ 128 (4.6: 1)	578/ 187 (3.1: 1)

## “愛”と“喜欢”

み、好き嫌いといった感情を表現したものであるから、普通「愛する」というレベルには至らない。したがって、“喜欢”を用いるのがふさわしい。

(57)は“我们”という複数の人間を対象としたもので、排他性を有する「愛」の対象とはなりにくいから、“喜欢”を使う方が適当であろう。

(59)は“有人爱清静，有人爱热闹”に言い換えると、性格的、感情的にそなりやすい、習慣的で癖になっているというニュアンスが強くなる。

(60)は“我爱唱歌，不爱画画儿。”は言えるようだが、“愛”を使うと、好きというだけでなく、その物事を「よく～する」という印象を聞き手に与える。また、(61)は「愛する」ことは「一瞬」の間に生じるものではないから“愛”に言い換えると不自然になる。(62)は、単なる好みの変化を表現していることから、“愛”に言い換えると不自然になる。(63)は、人に対する評価であり、自然に生じた感情というよりも、客観的事実に基づく理性的判断によるものであるから、“喜欢”が使われることとなる。

## 4. “愛”と“喜欢”の日本語訳

それでは、中国語の“愛”や“喜欢”はどのように日本語に訳すべきか、どのような言葉に対して、また、どのような気持ちで、“愛”と“喜欢”を用いればよいか、次に少し考えてみたい。

(67) 爱祖国，爱人民。／祖国を愛し人民を愛する。

これは中国語の文章、特に公的な文章によく見られるもので、スローガンの一種であってそのまま直訳してよい。

(68) 爱母校，爱教过我的每一位老师。／母校を愛し、教えてくださった先生方々を愛している。

具体的なもの、例えば、母校の表門の時計、一年生のときの教室、ある人の特徴（甲先生の笑顔、乙さんの髪型など）を言う場合には、「単なる好み」の意を表す“喜欢”を使ったほうがよいが、“爱母校”は1.1の(C)に当たる。すなわち、生まれた故郷や、育った環境など自分に深く関わる物事への「愛」については普通“愛”を用いる。“爱教过我的每一位老师。”は漠然

と心の中に生じた感情を表現するのであれば“愛”を使うべきであろう。

(69) 她上大学的时候爱过/喜欢过一个农村来的男孩。／彼女は、大学生の時、田舎から来ていた男性を愛していた/が好きだった。

中国語では“愛過”“喜欢過”の両方とも使えるが、述べる事実の違いがある。“愛過”は、愛情が燃え上がり、彼氏として付き合ったことを、“喜欢過”は、好きなことは間違いないが、恋人関係にまでは至っていないことをいう。前者は「愛する」、後者は「好きだ」が適当であろう。

(70) 我要爱他一辈子。／彼を一生愛するつもりだ。

“愛”と“喜欢”の違いの一つとして、“喜欢”は気に入って自分に合うことにポイントがあるのに対して、“愛”は、気に入ると同時に、自ら進んで大事にしたり親しんだりすることに重点がある。ここでは、“愛”が使われ、また「一生そうするつもり」という強い決意が表されているから、「愛する」に訳するのが適当であろう。

(71) 某大型商场近日开设“老公寄存处”，不爱逛街的老公被老婆“寄存”此处。／近日、ある大型デパートが「夫預かり所」を設置したところ、街をぶらぶらするのが嫌いな夫が妻によってここに預けられている。

このような“不爱”は「好きではない」「嫌いだ」の意味であるから、決して「愛していない」「愛しない」と訳してはいけない。

(72) 女儿爱晕车。／娘はよく車に酔う。

“晕车”は「車に酔う」意で、当然「愛する」「好きだ」という対象にはならない。ここでの“愛”は、1.5.2の用法で、生理的であり、理性ではコントロールできない「しょっちゅうなる」「～なりやすい」意を表す。

(73) 天气一会儿冷、一会儿热，这个时候人最爱感冒。／寒くなったり、暑くなったりする天気なので、この時期は最も風邪を引きやすい。

前の文と同じように、“爱感冒”は「風邪を引くことを愛する/好きだ」とは無関係だから。

(74) 他们习惯吃西餐，可也很喜欢吃中餐。／彼らは洋食になれたが、中華もとても好きだ。

好みを表しているなので、具体的な物事である「中華」を対象とするので

## “愛”と“喜欢”

「好きだ」と訳するのが適当であろう。

(75) 一般来说, 人总是喜欢得到, 不喜欢失去。／一般的には、人は得ることが好きで、失うことは好きではない。

何かを得ると満足感や幸福感に包まれて気分が高揚するが、何かを失うと不愉快になることを言うのであるから、「好きだ」「好きではない」と訳してよい。

(76) 她又聪明又漂亮, 我们班的男同学都很喜欢她。／彼女は賢くてきれいで、クラスの男子学生はみな彼女のことが好きだ。

クラスの男子学生すべてが一途に愛情を寄せるというのは不自然で、好ましい、少し心が引かれるというような感情をもつ男子学生も含まれていると見られるから、「好きだ」と訳するのが適当であろう。

このように、“愛”は「愛する」「愛している」のほかに「好きだ」「重んじる」「よく～する」「～しやすい」「～っぽい」と訳すことが可能で、その文の意味によって判断する必要がある。

## 5. 「愛する」と「好きだ」の中国語訳

日本語から中国語に訳す場合、「愛する」は“愛”と訳してほぼ問題ないが、「好きだ」については、“愛”と“喜欢”の違いに留意して選ぶこととなる。例えば、男女の愛、ペットへの愛、故郷への深い愛、真理・平和など抽象的な愛などを言う場合には“愛”を用いる。仮に“喜欢”を使ったならば、愛情の程度もかなり減少してしまうことになる。

(77) 隣席のクラスメートを好きになった。／愛(／喜欢)上了同桌。

“愛”と“喜欢”どちらも用いられるが、その程度が高いならば“愛”が適当である。

(78) このセーターはとても好きです。／我很喜欢这件毛衣。

具体的な事物を好ましいという好みを表しているので、“喜欢”の最も基本的で典型的な用法である。

(79) 彼は運動が好きで、特に水泳と登山が好きだ。／他很喜欢运动, 特

別喜欢游泳和爬山。

もし、「好きだけではなく、よくする」ことを表現したければ、“愛”も使える。

(80) 私は母がいつも私を干渉するのがいやだ。／我不喜欢妈妈老管着我。  
“喜欢”は目的語として兼語文をとることができる。(80)の“喜欢”は「好き」を表し、「よく～する」「～しやすい」意とは無関係である。

(81) 故郷の熊本が好きだが、熊本のラーメンは好きではない。／我爱我的故乡熊本，可是不喜欢吃熊本的拉面。

前者は「故郷」に対して「愛する」ということであるから、“愛”でよい。一方、後者は「熊本ラーメン」という具体的な好みを言っているので、「好きではない」は“喜欢”の否定形が用いられる。“不爱吃熊本的拉面。”とも言えるが、否定の程度はより強く感じられる。

(82) 愛の力があの病人に生きていく勇気を与えたのだ。／是爱的力量给了那个病人活下去的勇气。

「愛の力」というような抽象的な表現では、“愛”と訳するのが適当で、しかも、名詞の用法は“愛”にあって、“喜欢”にない。

(83) 私たちはみんな集団の荣誉を重んじる。／我们都爱集体的荣誉。

抽象的なもの、総称的なものを目的語にして「大事にする、重んじる」を表す場合、“愛”を使って、“喜欢”を使わない。

(84) 彼は休みの時一人で宿舎にじっとしていることが好きだ。／他休息的时候喜欢一个人静静地待在宿舍里。

これも具体的な好みとしても考えられるし、いつもの行動パターンとも言えるので、“喜欢”も“愛”も使ってよい。ただし、動詞として二音節となる方が自然であるから、その場合“就愛”や“总愛”などにした方がよからう。

(85) 野球はしないが、見るのが好きだ。／棒球我不打，可是喜欢（/爱）看。  
“喜欢”に訳すと、好みを表し、代わりに“愛”を用いると、「いつも～している」「～することを習慣としている」というようなニュアンスが強い。

(86) 多くの中国人が本当のアメリカジャズ音楽に触れて、好きになったのは、アメリカ映画『タイタニック』のおかげだ。／许多中国人真正

## “愛”と“喜欢”

接触到美国爵士乐，喜欢（/爱）上爵士乐，是因为美国影片《泰坦尼克号》。

ジャズ音楽を趣味としてとらえるならば、“喜欢”を用いるべきであるが、趣味を超えて、楽器をいじったり演奏したりするという意であれば、“愛”を使う方が適切であろう。

(87) 彼は恥ずかしがり屋で、話をすると顔が赤くなりがちだ。／他很害羞，说话爱脸红。

(88) ここは冬にしよっちゅう雪が降る。／这里冬天爱下雪。

(85)と(86)は「しよっちゅう～する」「～しがちだ」「～しやすい」意を表す場合、生理的、物理的にコントロールできないことを表しているのので、“愛”を使い、“喜欢”は使えない。

最後にまとめると、“喜欢”の意味・用法は比較的単純で、「趣味や好み」<sup>2)</sup>を表し、そして、「嬉しい、愉快だ」という気持ちをも表すことができる。これに対して、“愛”は意味も用法も多種多様である。基本的な意味である「愛している」から、「大事にし、重んじる」という意を派生する。また、「好きだ」から「好んでよくする」、そして、最後に「好んでよくする」から「しよっちゅう」「つい」「～しやすい」「なりやすい」という意までも表すようになったと考えられる。

### 参考文献

- 小川泰生ほか（2003）『違いが分かる中国語の類語表現』白帝社，p.195.  
柴森（2011）『中国語 類義語使い分けドリル』NHK 出版，p.96.  
相原茂（2015）『中国語類義語辞典』朝日出版社，p.615.  
蘇紅・顧明耀（2019）『中国語似ている単語使い分けブック』ベレ出版，p.12.

沖森紅美 Okimori Kumi 東京外国大学講師 専門：中国語文法・語彙論、日中対照研究

---

2) “喜欢”の「趣味や好み」を表す意味用法は明末から現れる。また、「嬉しい、愉快だ」という意味用法は三国時代の魏から使われると見られる。